

新型コロナウイルス感染症への対応について

せとうちDMOは、瀬戸内ブランドを確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会実現を目的とし、これまで活動してきました。

わたしたちはこの度の新型コロナウイルス感染症の影響を深刻に受け止めており、瀬戸内エリアの自治体・観光関連事業者のサポートに全力で取り組むと共に、収束後に備え、まずは域内観光を盛り上げる施策に積極的に取り組んでまいります。

せとうちDMO 活動歴

- 3/18 せとうちDMOメンバーズの4月分会費を無料化
- 3/26 せとうちDMOメンバーズ会員向けに補助金情報提供の実施
- 3/26 せとうちDMOメンバーズ会員向けに経営相談窓口の設置
- 4/13 補助金情報や地域の取り組みをFacebookページで発信開始
- 4/23 オンライン会議で使用できる瀬戸内画像の配信開始
- 5/1 行き場の無くなった食品を販売する「食べて応援」コーナーを食の通販サイト「島と暮らす」で開始

今後も、せとうちDMOは新型コロナ拡大の影響を受けている事業者様への継続的な支援策を積極的に展開してまいります。

瀬戸内地域全体で助け合い、手を取り合ってこの苦難に打ち勝ちましょう！

ご相談窓口の設置について

この度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光関連の事業者様に大きな影響が出ています。

せとうちDMOメンバーズでは、会員の皆さまの事業運営に配慮し、メンバーズ様「ご相談窓口」を設置しております。詳細は下記をご覧ください。

=====

■メンバーズ様「ご相談窓口」について

- (1) 開設日：令和2年3月27日(金)
- (2) 開設時間：9時～17時まで(土日祝を除く)
- (3) 相談内容：事業に関すること
- (4) 連絡先：082-836-3006
メール：members@setouchi-bc.co.jp
- (5) 担当：松岡、田上(タノウエ)、二神(フタガミ)、竹内


今般のコロナ対策として、各省庁からの支援策が示されています。この支援策について内容にご不明な点や、その他お悩みなどがございましたらお気軽にご連絡ください。

- ・経済産業省の支援策
<https://www.meti.go.jp/covid-19/>
- ・厚生労働省の支援策
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata


瀬戸内Finder 4月人気記事TOP5


地元ライターによる瀬戸内情報発信中！
<http://setouchifinder.com>

#1  **山口県・周防大島で「TAKE OFF(テイクオフ)」!**
山口県

#2  **日本三大秘境！徳島県『相谷』がスゴすぎる!**
徳島県

#3  **その美しさ世界レベル！山口県の海・山・島 超絶景マトメ8選!**
山口県

#4  **ここでしか手に入らないお菓子『観音寺まんじゅう(名菓観音寺)』**
香川県

#5  **視界の端から端まで美しい！瀬戸内の絶景「多島美」スポット8選**
せとうち

メディア掲載実績

- せとうちDMO
4月25日 月間経済春秋
4月28日 Yahoo!ニュース
- 瀬戸内観光情報
3月13日 四国新聞
- STU48「瀬戸リスト」関連
4月11日 朝日新聞
- 瀬戸内おみやげコンクール
4月10日 OHKなんしょん
- 観光ファンド
4月10日 朝日新聞、読売新聞(web)
4月24日 朝日新聞、読売新聞(web)

せとうち観光活性化ファンドを通じた支援

瀬戸内ブランドコーポレーションは、せとうち観光活性化ファンドを通じた下記支援を決定しました。

◇ いずみホールディングスへの出資

せとうちDMOでは、主要テーマの1つとして「食」を掲げ、「瀬戸内の食」のブランド化に取り組んでいます。食品流通における幅広いネットワークやIT活用を強みとするいずみホールディングスと連携し、「瀬戸内の食」のブランド化を推進することにより、瀬戸内における地域経済への波及効果が期待できるものと考え、このたびの支援を決定しました。

今回の出資を契機とし、いずみホールディングスと瀬戸内地域の生産者との取引拡大をサポートするほか、いずみホールディングスの取引先である全国約10,000店舗の飲食店・量販店における「瀬戸内フェア」実施や、生産者と連携した観光の目玉となる商品の共同開発などに取り組んでまいります。

【対象会社概要】

- 会社名：株式会社いずみホールディングス
- 所在地：北海道札幌市西区二十四軒1条1丁目3番5号
- 事業内容：水産卸売業、畜産卸売業、農産卸売業、物流事業、プラットフォーム事業
- 設立：平成24年1月18日
- 資本金：5億1,000万円
- 代表：泉卓真
- HP：<https://www.izumi-hd-izm.co.jp/group>

◇ 瀬戸田ホテル（仮称）への出資

広島県尾道市生口島の瀬戸田にある豪商屋敷「旧堀内邸」を活用し、国内外の観光客向けの宿泊施設・温浴施設を開発する合同会社瀬戸田ホールディングスに対する支援を決定しました。

本件は、尾道市が実施した同市が保有する「旧堀内邸」の観光拠点としての活用にかかる公募に対して、瀬戸内ブランドコーポレーションと株式会社ナル・デベロップメント（京都府京都市）が協働してホテル開発の提案を行い、事業者として選定されています。

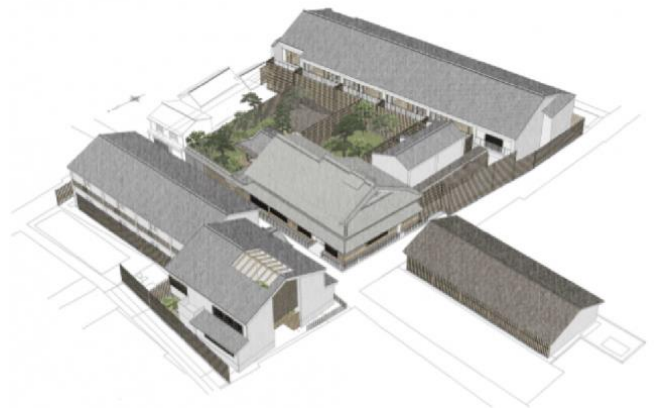
せとうちDMOでは、「瀬戸内しまなみ海道」を広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」における重要なエリアの一つとして位置付け、これまで当該エリアにおいて観光促進による様々な地域振興に取り組んでまいりました。

今回の事業エリアである瀬戸田は、世界有数のサイクリングロード「瀬戸内しまなみ海道」のほぼ中間地点に位置し、サイクリストを中心に国内外から観光客が増加しています。本施設の開発により、瀬戸田を訪れる観光客の滞在時間を延ばし、消費拡大が期待されることから投資決定をいたしました。

今後、せとうちDMOは、瀬戸田ホテル（仮称）の開業が周辺施設や地域経済への波及効果など瀬戸内の観光活性化につながることを目指し、各種プロモーションや地域周辺事業者との連携を支援してまいります。

【ホテル概要】

- 名所 瀬戸田ホテル（仮称）
- 事業者：合同会社瀬戸田ホールディングス
- 所在地：広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田字御幸町269他



せとうちDMO 4周年迎える

せとうちDMOは、2020年4月1日に設立4周年を迎えました！2016年に、せとうち観光推進機構、瀬戸内ブランドコーポレーション設立、そして事業を開始して以降、多くの地域の皆さまに支えられながら、無事4周年を迎えることができました。

<せとうちDMO 沿革>

- 2011年3月 「瀬戸内 海の道構想」策定
- 2012年5月 「瀬戸内ブランド推進協議会」設立
- 2013年4月 瀬戸内7県による任意団体「瀬戸内ブランド推進連合」発足
- 2015年6月 広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」国土交通大臣認定
- 2015年7月 「瀬戸内ブランド推進連合」一般社団法人化
- 2016年3月 「一般社団法人せとうち観光推進機構」に発展改組
- 2016年4月 「株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション」設立
- 2017年2月 メンバース事業「せとうちDMOメンバーズ」開始
- 2017年11月 観光庁「日本版DMO」に登録



また、せとうちDMOは、以下の4つのVisionを掲げており、4周年を迎えた今年、今一度原点に戻り皆さまとともに更なる観光地域づくりを推進していきますので、今年度もどうぞ引き続きよろしくお祈いします！

- Vision1 瀬戸内が一度ならず二度、三度と訪れてみたい場所として定着している
- Vision2 国内外から人々が集まる
- Vision3 地域が潤う
- Vision4 輝かしい未来に向けて住民の間に誇りと希望が満ちている

オンライン会議の背景に瀬戸内の画像を

WEB会議やTV会議でご使用できる瀬戸内の画像をFacebookページで紹介。世界中のSETOUCHIファンが瀬戸内を感じることで関係維持をはかり、収束後の来訪を促します。



兵庫県：明石海峡大橋



岡山県：瀬戸大橋



広島県：庄原市の古民家「長者屋」



山口県：角島大橋



徳島県：祖谷のかずら橋



香川県：父母ヶ浜



愛媛県：JR下灘駅

各県連携プロダクト開発事業 25件のプロダクトを開発

せとうちDMOでは、昨年度、瀬戸内を訪問する外国人旅行者の観光消費額の増加、滞在時間の延長、満足度の向上を目指し、せとうち域内での旅行商品造成につながるプロダクト開発を行いました。

各県連携プロダクト開発事業では、これまでの取り組みで得たプロダクト開発のスキームと海外市場ニーズのフィードバックを十分に活かしながら、域内の事業者が提供する個々の商品、サービス、コンテンツを有識者の指導のもとコーディネートすることにより、訪日外国人旅行者が体験してみたいと思える魅力的なプロダクト開発を目指しました。また、本事業では従来の有名な観光コンテンツに、せとうちエリアのローカルでユニークなコンテンツを組み合わせることで、地域の更なる魅力を発信することに努めました。

また、昨年度のせとうちDMOの重点対象市場である欧米豪（米・英・仏・独・豪）からの誘客を促進するため、仏・独・米の現地の旅行会社等を招き、昨年度計3回の視察ツアーを実施しました。視察ツアー後には、オンラインを通じて各国のマーケティングエージェンシー等に意見聴取を行い専門的・多角的な意見を集約し、よりよい旅行商品の造成に努めました。

今後、新型コロナウイルスが収束した後、せとうちDMOのホームページやランドオペレーター、旅行会社等を通じて、再び瀬戸内の魅力を体験していただければと願っております。

本事業でも、外国人旅行者の目線からの多数の意見をいただきました。これを活かし、今後も魅力的な旅行商品作りに繋げ、効果的なプロモーション活動を行ってまいります。

※本事業で造成したプロダクトはせとうちDMOのHPにてデジタルパンフレットとして公開予定です。

URL : <https://setouchitrip.com/media>

